

8指定校 実践開始

本社で総会 新規5校含め認定

県研究会

NIE活動を実践する県内
小中学校の教員でつくる県
NIE教育研究会の本年度



総会と全体会が19日、福井新聞社で開かれた。本年度の実

NIE実践指定校の認定書を受け取る芦原中の松野校長。19日、福井新聞社・プレス21 (杉本哲大撮影)

実践指定校となった8小中学校に認定書が渡され、各校での本格的な活動がスタートした。

総会には23人が出席。本年度会長の松野信一・あわら市芦原中学校長が「社会に関心を持ち、多様な人々との対話により問題解決を図り、発信する力を身に付ける上で、新聞は身近な教材。ふるさと福井を知る上でも大きな役割を持っている」と述べ、子どもの発達段階や地域特性に応じた

活動を期待した。

本年度からの新規5校を含む実践指定校を代表し松野校長が、県NIE推進協議会の松友一雄会長(福井大教育学部教

授)から認定書を受け取った。

全体会では、小学校、中学校に分かれて授業の進め方などで意見交換した。本年度の研究推進委員に委嘱された旧実践指定校の教員らが「ふりがなが付いている子ども新聞は大変役立つ」「家庭で新聞に親しむための啓発が大事」などとアドバイスしていた。(宇野和宏)